

# 2018年度の事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ

会員の皆様、支援者の皆様、事業でお世話になった皆様、昨年度も大変お世話になりました。茨城 NPO センター・コモンズは昨年設立 20 周年を迎え、新たに下記のビジョンやミッションなどのもと、活動を進めて参りました。

<b>今後大切にしたい価値(バリュー)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- セーフティネット(制度外福祉)の充実</li> <li>- ダイバーシティ(多様性)</li> <li>- ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)</li> <li>- 市民社会</li> <li>- ネットワーク型社会</li> </ul>					
<b>目指す社会像(ビジョン)</b>	様々な課題当事者が社会的に包摂され、多様性が尊重され、人や組織がつながり共に行動する市民社会					
<b>10年後(2028年)に達成する中期的目標(オブジェクティブ)</b>	県内5地域(県北、県央、県南、県西、鹿行)において、以下のセーフティネットを生みだします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 誰もが来られる居場所</li> <li>- 組織連携によるワンストップのよろず相談場所</li> <li>- フードバンクによる食のセーフティネット</li> <li>- ジョブトレーナーによる中間的就労</li> <li>- 多文化共生時代にふさわしい保育、教育、キャリア支援機関</li> <li>- 空き家を活用した一時入居できるシェルター</li> <li>- 災害時に対応できる福祉ネットワーク</li> </ul>					
<b>社会的な役割(ミッション)</b>	セーフティネットづくりに取り組む活動を支え、ネットワーク化し、または自ら取り組んで、その芽を育てること、また地域における民間非営利団体の活動基盤の充実を図ること					
<b>対象</b>	<b>ひきこもりがちな市民</b>	<b>子ども</b>	<b>外国人</b>	<b>被災者</b>	<b>高齢者</b>	<b>障がい者</b>
<b>事業の柱</b>	<b>上記の市民を支える、地域社会の団体</b>					
<b>① セーフティネットのインキュベーション<sup>1</sup></b>	グッジョブセンターみやびばらき若者サポートステーションによる就労支援	コモンズ・グローバルセンターによる多文化保育や学童保育、学習支援、キャリア支援の実施		たすけあいセンター「JUNTOS」による居場所づくり、移動支援		一般社団法人グローバルセンター・コモンズによる就労支援のモデルづくり
<b>② ネットワーク化</b>	地域を構成する多様な組織の連携の機会づくり	子ども食堂や無料塾のネットワーク化支援	教育機関をつなぐ地域円卓会議の実施	災害時の特殊ニーズに対応するための、福祉団体のネットワーク化	自治体やNPOなどによる生活支援体制整備の支援	福祉避難所づくりを通じた障がい者支援団体のネットワーク化
<b>③ 担い手の育成</b>	ジョブトレーナーの育成、親の会やひきこもり支援に関わる団体の運営支援	子ども食堂や無料塾の運営支援	外国人による当事者組織や常総市国際交流協会の設立支援	防災訓練や常総の水害の経験を活かしたワークショップの実施	茨城 NPO 事務支援センターによる NPO などへの会計支援	
<b>④ 活動資源の仲介</b>	いばらき未来基金による NPO などへの助成と伴走支援			JUNTOS 募金やホームページ募金(いばらき未来基金内の被災者支援活動のための基金)	遺贈寄付の推進	いばらき未来基金による NPO などへの助成と伴走支援

<sup>1</sup> インキュベーションとは、培養、起業支援を意味します。つまり、まだ地域課題解決の担い手が少ない分野にコモンズが直接関わり、モデル的事业に取り組みますが、その事業を通じて担い手、財源、情報、ネットワークなどの活動資源が充実した段階で、コモンズから分離・独立させ、その後は側面的、間接的にその活動をコモンズがサポートします。コモンズが永続的にその活動を自前で行わない、ということの意味です。これまでの20年間を振り返っても、パソボラ茨城、とらい、茨城福祉移動サービス団体連絡会、フードバンク茨城、ふうあいねっと、グローバルセンター・コモンズなど、インキュベーションによってコモンズが生み出してきたセーフティネットづくりに関わる団体は多くあります。

また、昨年度総会で決定された事業計画では、上記のミッションのため、次の事業方針を掲げました。

### 2017年度事業方針（抜粋）

首都直下地震や豪雨災害のリスクが高まる中で、市民自らが防災に取り組むことが必要です。常総での様々な分野の実験を前に進めるだけでなく、その実践を他地域でも取り組めるように広めつつ、

寄付も募る。人が直に交わる中で、いざという時に助け合えるネットワークをつくる。支え合い、学び合う人のつながりをつくっていきましょう。

事業部門名		活動方針
	水戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いばらき若者サポートステーション事業において、若年無業者等の若者が充実した職業生活を送り、我が国の将来を支える人材となるよう、職業的自立支援を行います。</li> <li>・ 生活困窮者を支えるため、支援組織が連携しやすい体制づくり、コーディネート人材をつくります。</li> <li>・ 就労支援のモデル事業として「グッジョブセンターみと」の運営と、企業開拓の拡大を図ります。</li> <li>・ グッジョブセンターみと、いばらき若者サポートステーションとよりそいホットラインにおいて、事業間連携をしっかりと取り、各事業の更なる効果的な運営を目指します。</li> </ul>
セーフティネットのインキュベーション事業	水害被災者支援と地域の心の復興、防災に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療所と大きな家を「えんがわハウス」として再生します</li> <li>・ 外出支援、生活支援、生きがいを通じて、新たなコミュニティをつくります</li> <li>・ 常総の経験を活かした防災、多様性に配慮した避難所づくりを実践し、全国に広めます</li> <li>・ 全国の被災地と連携した中長期的な被災者支援、被災地の復興に関する提言活動</li> </ul>
	常総 外国籍住民の定住支援ならびに子どものキャリア支援の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「はじめの一步保育園」で保育ニーズに応えつつ、バイリンガル保育スタッフを増やす</li> <li>・ 「アフタースクール」を拡充した学童保育の立ち上げと、年間を通じたプレスクール等の実施</li> <li>・ 「外国ルーツの子のキャリア円卓会議」を通じた教育委員会、学校、事業所の連携を促進</li> <li>・ 移住した外国人が地域の一員になれるようにするための情報提供と交流の機会を増やす</li> </ul>
ネットワーク化事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次世代のセーフティネットづくりに取り組む担い手同士をつなぎます。</li> <li>・ 高齢福祉や空き家活用、被災者支援などのテーマで、地域を構成する様々な組織同士をネットワーク化し、持続可能な地域づくりにつなげます。</li> </ul>
担い手の育成事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 茨城 NPO 事務支援センターによる会計支援などを拡充することによって、セーフティネットづくりに取り組む担い手の組織基盤強化と信頼性向上につなげます。</li> </ul>
活動資源の仲介事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺贈寄付の推進や、空き家など遊休不動産活用といった、少子高齢社会における茨城の市民コミュニティ基金としての活動の基盤を整備します。</li> </ul>

これらが 2018 年度にどれくらい達成できたか、またどのような事業を行ったのか報告致します。

## 2018年度の活動方針①-1：セーフティネットのインキュベーション事業

- 生活困窮者を支えるため、支援組織が連携しやすい体制づくり、コーディネーター人材をつくります。
- 就労支援のモデル事業として「グッジョブセンターみと」の運営と、企業開拓の拡大を図ります。
- グッジョブセンターみと、いばらき若者サポートステーションとよりそいホットラインにおいて、事業間連携をしっかりと取り、各事業の更なる効果的な運営を目指します。

### ◇ なぜ「グッジョブセンターみと」事業に取り組んだのか

これまで、県内の自治体では就労支援の出口がほとんどなく、つなぎ先も乏しいのが現状でした。しかしながら、平成27年4月に「生活困窮者自立支援法」が施行され、就労準備支援事業への取り組みが明記されたこともあり、就労困難者の就労が進むと期待されました。しかしながら、任意事業であったためか県内各市の取り組みは進みませんでした。

法律は整備されたが制度が進まない現状をみて、コモンズでは制度外福祉事業として「グッジョブセンターみと」を平成28年4月に立ち上げました。

相談にも行けず、生活保護も受けられず、また、ハローワークにも行けない人々の相談に対応するためには、「相談⇒居場所への参加⇒就労体験⇒就労」といった具合に、段階的な取り組みが必要になります。「グッジョブセンターみと」は、ひきこもり者の居場所であり、たまり場であり、就労体験ができる場です。就労困難な若者を地域の働き手に変えるための事業に取り組んでいます。

### ◇事業の方向性

グッジョブセンターみとの利用者は、不登校やひきこもりなどで、仕事に対して未経験やブランクが長いこと、働くことに大きな不安を抱えています。グッジョブでは、こうした利用者が、仕事や人生に再チャレンジするための道筋と仲介の仕組みをつくりました。就労体験を経て一般就労に結びつくなどの成果が出ております。

私たちは、就労体験を経験した利用者の顔や姿が生き生きと変化し、就職に近づいていくのを肌で感じることができます。利用者のこのような変化を絶やさないためにも、就労体験は欠かせません。今後は、就労体験の場を提供してくださる企業の確保、就労体験を支えるジョブトレーナーの確保、就労体験をする訓練生の確保が必要と考えております。平成30年度の就労体験先は次のとおりです。

#### ①いばらきコープ生活協同組合コープデリ水戸センター内における”印刷等業務”

(平成28年8月から現在まで継続)

ジョブトレーナーと訓練生の2人1チーム。毎週金曜日に4時間、生協の組合員に配るチラシ約16,000枚の印刷や3つ折りにする作業などを行っています。訓練生の就労体験の期間は約2か月で、就労体験の入門編として欠かせない就労体験先です。

#### ②東海村社会福祉協議会が管理する東海村総合福祉センター「絆」の”清掃業務”

(平成30年4月から現在まで継続)

ジョブトレーナーと訓練生2人の3人1チーム。毎週月曜日から土曜日まで、Aシフト(5.5時間)、Bシフト(4時間)、Cシフト(3時間)の体制で、施設内の清掃を行っています。訓練生の中からジョブトレーナーになる人も出ており、訓練生にとって励みになっています。

#### ③いばらきコープ生活協同組合 コープデリ水戸センター内における”荷積み作業”

(平成30年8月から現在まで継続)

ジョブトレーナーと訓練生2人の3人1チーム。毎週月曜日から金曜日まで（祝日、年末を含む）、午前8時から10時までの2時間、トラックに荷物を運び入れる作業をしています。午前9時30分に出発するトラックに間に合うよう、作業のスピードが求められています。

## ◇得られた成果

### ①「平成30年度ひきこもり居場所づくり普及推進事業」を受託

「グッジョブセンターみと」の活動経験から、茨城県の委託事業「平成30年度ひきこもり居場所づくり普及推進事業」の受託につながりました。研修内容等は下記のとおりです。

・茨城県ひきこもり者支援団体認定証交付団体 8団体

		年 月 日	場 所	参加団体
県南	1回	平成31年1月29日(火)	土浦市亀城プラザ	7団体
	2回	平成31年2月3日(日)	〃	9団体
県北	1回	平成31年1月31日(木)	茨城県立健康プラザ	11団体
	2回	平成31年2月7日(日)	〃	8団体

<研修内容>

- 1回目(共通) ①開校式 ②ひきこもり者の支援に求められること ③ひきこもり者が抱える問題課題について ④精神障害者の理解と対応について ⑤居場所をどう維持するか
- 2回目(共通) ①当事者支援・家族支援から学ぶ ②居場所運営者から学ぶ  
③ひきこもり当事者から学ぶ「こんな居場所があったらいいな」

### ②「グッジョブセンターみと」の登録者や来所者が増加

特に、来所者が昨年度467人から今年度1,457人と大幅に増加しました。これは、コモンズで受託した、いばらき若者サポートセンター「サポステ」の登録者の中で、人間の関係性をつくりたいなど希望する人々がグッジョブに紹介されてくるケースもあったことも理由のひとつと考えられます。

年 度	期 間	新規登録者	来所者	就労体験	就職者	ワーク
平成27年度(28/1~3)	3カ月	18	63	0	9	22
平成28年度	12カ月	44	254	79	4	95
平成29年度	12カ月	93	467	170	13	191
平成30年度	12カ月	96	1457	1494	29	133
合計		251	2241	1743	55	441
平成30年度	1カ月当たり	8	122	124.5	2.4	11

### ③ 就職者が、昨年度13人から今年度29人に増加

これは、就労体験者が昨年の170人から今年度1,494に大幅に増加したことで、就職につながったと考えられ、就労体験の効果と考えております。

グッジョブセンターみと 就職者数

(単位: 人)

登録年度(平成)	28/1~3	28年度	29年度	30年度	合計
正社員	0	2	2	1	5
パート・アルバイト	9	2	11	28	50
計	9	4	13	29	55

## ◇ 今後の展望

### ① ひきこもり者の発見（発掘）と「グッジョブセンターみと」の周知

平成 31 年度は、いばらき若者サポートセンター「サポステ」が受託できなかったことから、グッジョブ登録者の減少を懸念しております。就労体験から就労につながるなどひきこもり者の社会参画や就労には就労体験事業は欠かせません。市町村などの関係機関などと連携しながら、ひきこもり者の発見（掘り起し）に努めます。

### ② アウトリーチ（出張相談）の実施

ひきこもり者の中には「家から外に出られない」という人もいます。また、相談内容によっては、時間や期間がかかります。そのため、県内のあちこちに住む人に（仮称）よりそいサポーター登録をしていただき、地域のひきこもり者など「困りごと」を抱える人の支援ができる体制を整えることができれば、と考えております。

### ③ 様々な行事（体験）の実施

ひきこもり者の中には、家庭の事情などで修学旅行や海・山、美術館などに行ったことがない人もおり、こういった経験がないことが、人との関係を避ける要因にもなっています。生活訓練やハイキング、美術館鑑賞など、いろいろな行事を実施し、対人関係の改善につなげたいと考えています。この事業は利用者が中心となってボランティアが支えます。

### ④ ひきこもり者の支援を行う、（仮称）よりそいサポーターの養成

ひきこもり者の支援のためには、“地域みんなで支える”といった相互扶助のかたちも必要です。ひきこもりをはじめ困りごとを抱えている人がいたら、その解決は、地域住民、地域をよく知る団体、地域の企業、行政の担当者からなる（仮称）よりそいサポーターが行います。電話相談をはじめ、福祉の窓口へ同行したり、就労体験を一緒にしてくれるなどのサポーターを養成したいと考えております。

## ◇ 最終的な「グッジョブセンターみと」の目標

生活困窮者自立支援法の就労準備支援事業に取り組んでいる行政はごくわずかです。コモンズでは、平成 30 年 2 月 15 日に「茨城に中間的就労を根付かせるためその可能性を考えるフォーラム」を開催し、就労準備支援や中間的就労の必要性などについて県内の行政職員や当事者を含めた約 100 人の参加者で議論しました。

ひきこもり者などの社会参画を目指すためには、各地域に（仮称）よりそいサポーターを養成し、その中から、県内数か所にグッジョブのようなジョブトレーナー付の就労体験ができる団体ができるよう、活動を進めることが必要だと考えています。

また、平成 30 年度から就労準備事業が努力義務になったことから、令和 2 年度は県内各市において就労準備事業の取り組みが進むと思われます。コモンズで今年度受託した、「茨城県就準備支援事業」や平成 28 年 1 月からコモンズが独自で制度外福祉事業として取り組んでいるジョブトレーナー付就労体験の実績をアピールし受託を目指します。

## 2018年度の活動方針①-2：セーフティネットのインキュベーション事業

- いばらき若者サポートステーション事業において、若年無業者等の若者が充実した職業生活を送り、我が国の将来を支える人材となるよう、職業的自立支援を行います。

地域若者サポートステーション事業において、若年無業者等の若者が充実した職業生活を送り、我が国の将来を支える人材となるよう、職業的自立に向けた支援を行った。

事業名	支援対象	事業名と事業内容	主な協力組織
いばらき若者サポートステーション (通称:サポステ)	15～39歳で無業状態にある方及びその家族	<p>多様な課題を抱えた利用者に対し柔軟性のある「オーダーメイド型」の支援メニューを用いながら、利用者の立場にたった支援で、利用者満足度 100%を獲得することができました。</p> <p>&lt;2018年度実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規登録者数：60人</li> <li>・就職者数：47人 ※20時間未満の就職者を含む</li> <li>・その他進路決定者数：5人</li> <li>・相談件数：1,331件</li> <li>・セミナー参加者数：682人</li> </ul> <p>&lt;利用者からのコメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか行動を起こす力が湧かない中で、少しずつ自分にあったペースで、親身に相談にのって頂き、段々と社会復帰していきけるようになりました。一年前の自分だったら、今の自分の状態が想像もできませんでした。</li> <li>・自分の希望する職種について、就職までの道筋をつけて頂きました。年齢や今までの職歴を考えると、正社員は厳しいと決めつけていましたが、支援員はそんな考えでいる自分を否定せず、がんばれるようサポートしてくれました。</li> <li>・自分の進む道がまるでわからなかったが、相談の中で興味のあるもの・合っていそうなものを一緒に探してくれたことが、大きな助けになりました。</li> <li>・サポステを利用したことで、自分に自信を持って行動できるようになりました。</li> <li>・自分の悩みを丁寧にじっくり聞いてくださり、色々な制度についても教えて頂いたので、助かりました。</li> <li>・職場体験では、実際に仕事を体験し理解を深めることができました。色々な種類のセミナーや個別相談など、密度の濃いサポートで就職にこぎつけることができました。</li> </ul>	公共職業安定所、地方自治体等の関係機関

## 常総のたすけあいセンター「JUNTOS」の活動報告

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による水害からの地域の復興を目指して立ち上げた被災者支援プロジェクト「JUNTOS」の活動も 4 年目を迎えた。水害による住宅再建を断念する被災者が多く、人口減少と空き家の増大が常総市の大きな課題で

ある。

人が戻って来られる地域にするには、次の災害に備える自主防災と、困った時に助け合える安心なコミュニティづくりが必要になると考え、この 2 つを柱に活動を行った。

### 1. 安心して暮らせる地域にするための自主防災の取り組み

#### 1) 逃げ遅れを防ぐための「誰もが行ける避難所」の整備

- ・水海道中学校や鹿島特別支援学校で、共助型福祉避難所の開設訓練を実施し、キットを開発。
- ・共助型福祉避難所の検討会や、災害時要配慮者の個別支援に関する研修会を開催。

#### 2) 防災に関する研修への講師派遣、視察受け入れ。

#### 3) 災害に関する情報発信

- ・七月の西日本豪雨の際、昨年度作成した『豪雨災害に備えるガイドブック』をウェブ上で公開。
- ・水害後 3 年間、森下町橋本町と取り組んだ自主防災の活動をまとめた冊子を発行。

#### 4) 被災地間交流と相互支援

- ・岡山県倉敷市真備町、笠岡市、広島県呉市、福岡県朝倉市で復興支援に取り組む方々に常総の経験を伝えるための現地訪問を行った。

### 2. 旧片野外科胃腸科医院と住宅を「えんがわハウス」として再生する取り組み

#### 1) 住宅棟と母屋での交流・助け合い活動の開始

- ・住宅棟では 4 月から平日毎日「はじめのいっぽ保育園」を運営した。
- ・母屋 2 階では 6 月から平日毎日学童保育を開始、3 学期にはプレスクールも実施。
- ・母屋 1 階では、落語会、クリスマス会、餅つきなど住民が交流できるイベントを行ったほか、診療所改修プランに関する要望を聞く内覧会も行った。

#### 2) ボランティアによる住宅の改修、片付けを継続

#### 3) 助け合い組織立ち上げのための視察や学習会の開催

- ・えんがわハウスを住民主体で運営できるようにするため、住民有志でパルシステム茨城 栃木の日立館やひたちなか市の NPO が運営する店舗を視察した。
- ・子ども、高齢者などが混ざる「共生ケア」について常総市役所の担当課と検討会を行ったほか、神奈川県、東京都、富山県、石川県、福岡県、熊本県の施設視察を行った。
- ・買い物や通院をサポートする JUNTOS 移動支援もボランティアの協力により継続した。

### 2018年度の活動方針①-3：外国籍住民の定住支援ならびに子どものキャリア支援の取り組み

- ・ 「はじめの一步保育園」で保育ニーズに応えつつ、バイリンガル保育スタッフを増やす
- ・ 「アフタースクール」を拡充した学童保育の立ち上げと、年間を通じたプレスクール等の実施
- ・ 「外国ルーツの子のキャリア円卓会議」を通じた教育委員会、学校、事業所の連携を促進
- ・ 移住した外国人が地域の一員になれるようにするための情報提供と交流の機会を増やす

#### ◇ 取り組んだ地域の課題

茨城県常総市は、人口 63,366 人の約 8%を外国人住民が占めており（平成 31 年 4 月 1 日現在）、市内小中高校には外国につながる子どもが多く在籍するほか、外国人学校から公立校へ移る子どもや、新規来日する子どもも増えています。また、その子どもたちの保護者も、言葉の壁から工場で働く方が多く、職の選択肢が限られている状況にあります。外国につながる子どもたちとその保護者、子どもたちが通う学校等と連携し、より多くの関係者と彼らの教育環境向上を目指し、また、保護者等の就労機会拡大に取り組むために 2018 年度は、常総市委託事業による CLAIR 助成金、民間助成金（トヨタ財団）をいただき、自主事業として就学支援を行いました。

#### ◇ 事業の方向性

2018 年度は、常総復興拠点として改修された「えんがわハウス」を拠点として常総の子どもたちの待機児童解消および学習環境向上、外国人住民の人材育成に向けて取り組みました。

2018 年度は、昨年度に続きアフタースクール、高校進学ガイダンス、教員情報交換会、プレスクール、通訳派遣、個別相談対応などを行いました。

新たな事業としては、多文化保育園「はじめのいっぽ保育園」を開所したほか、外国につながる小学生や不就学児童を対象とした学童保育「はじめのいっぽアカデミア」を運営するなど、常総市に住む子どもの保育・教育の機会向上に向けて活動しました。なお、「はじめのいっぽ保育園」には、4 名の外国籍スタッフを迎え、保育人材の育成にも努めてきました。

また、常総市と協働で「在住外国人への定住化支援事業」に従事し、外国人の生活相談にのるピアサポーターの養成を行い、常総市で暮らすために役立つ情報をまとめた『外国人のための生活ガイドブック』（全 7 言語）を作成・発行しました。

#### ◇ 得られた成果と今後の課題

##### ● 多文化保育園「はじめのいっぽ保育園」

【成果】1 年間でブラジル、フィリピン、ネパール、日本など、計 15 名以上の多様なルーツを持つ園児に通園していただくことができました。保育園では、ブラジル、フィリピン料理といった多国籍料理を提供したほか、各国のお祭りなど多文化保育園としての役割を果たすために様々な行事を行いました。このように自分たちのルーツを大切にしながら、日本社会・日本文化への適応に向けて取り組むことができました。また、外国籍スタッフの保育の専門性を高めるため、3 名が子育て支援員研修に参加し、保育の充実に向けて技術・能力を究めることができました。

##### 【課題】

・ 外国にルーツを持つ園児、保護者にとっては通訳付きの保育園で、とても安心感があり預けやすいとの声がある一方で、日本人（国籍）家庭の利用は少なく、子ども、親同士の多文化交流が少ない傾向にあります。周知活動等をさらに行い、外国人家庭と日本人家庭の交流も深めていくことが課題です。

・ 認可外保育園のために保育料が高額で保護者から負担が重いとの意見があります。経済的な負担



を軽くできるよう認可申請をするなど対策を講じます。

- 学童保育「はじめのいっぽアカデミア」（学習支援・不登校支援：月曜日から金曜日）  
【成果】常総市内の公立小学校に通う児童への日本語指導を行うとともに、常総市の課題解決に向けて社会科見学（ごみ処理場見学）等を行いました。また、不登校の児童に対して居場所を提供し、小学生とともに活動することで、昨年度は1名の児童が小学校に登校できるようになりました。  
【課題】
  - ・スタッフの日本語教師としての能力を向上させるために、日本語教育の研修等に参加します。
  - ・小学校と連携して、在籍児童の学習能力を把握し、適切な日本語指導ができるよう連絡を密にします。
- 外国人親子向け高校進学ガイダンス  
【成果】常総市教育委員会や他市教育委員会、地域の小中学校・県立高校と連携しながら、常総市を含む県内3市（常総、神栖、土浦）で高校進学ガイダンスを実施し、外国人住民に高校進学に関する情報を届けることができました。  
【課題】昨年度は、3地域のみの実施だったため、今年度は他地域でも実施していきます。
- 在住外国人への定住化支援事業  
【成果】ピアサポーター養成により、外国籍住民の困りごと（税金、年金、医療、福祉など）について多言語で対応できる体制を整えることができました。また、『外国人のための生活ガイドブック』の発行により、常総市での暮らしの中で必要な情報を提供することができるようになりました。  
【課題】ピアサポーターが活動するための財源の確保が課題となっています。ピアサポーターへ依頼があった場合の移動費や謝金等、ピアサポーターが活躍し、周知されるために今後の活動費についての検討が必要です。
- アフタースクール（小中学生向け学習支援：毎週土曜日）  
【成果】来日直後の子ども、受験生を対象にボランティアベースで活動を実施。受験生2名の高校進学が決定しました。また、参加しているボランティアも主体となって活動に参加することで、アフタースクールの在り方や児童生徒の指導方法を一緒に考え、学習支援の質の向上に努めることができました。  
【課題】毎週参加するボランティアおよび児童生徒に偏りがあるため、ボランティアと児童生徒の参加人数を増やし、毎週お互いに学びがあるような環境を整備していく必要があります。そのために、ボランティアへの交通費支給の検討、各学校への周知活動、教材の充実を行っていきます。
- プレスクール（全10回）  
【成果】小学校就学前の外国にルーツをもつ園児を対象にプレスクールを実施しました。子ども達には学校で使う日本語や学校生活について学んでもらい、保護者には書類の記入方法や入学準備、日本特有のルール等を伝える説明会を実施し、参加者の学校生活への早期適応に貢献しました。  
【課題】
  - ・日本語初期指導に加え、子どもの家庭状況を把握しながら、日本語指導、生活指導のカリキュラムを作成していくことが課題です。

はじめのいっぽ保育園



ピアサポーター養成講座



外国人親子向け高校進学ガイダンス



はじめのいっぽアカデミア



プレスクール



アフタースクール



## 2018年度の活動方針②：ネットワーク化事業

次世代のセーフティネットづくりに取り組む担い手同士をつなぎます。また、高齢福祉や空き家活用、被災者支援などのテーマで、地域を構成する様々な組織同士をネットワーク化し、持続可能な地域づくりにつなげます。

### ◇ 取り組んだ地域及び組織の課題

テーマ	次世代のネットワークづくり	協働推進のための受託事業	被災者支援ネットワークづくり
地域の課題	現在の茨城の市民活動ネットワークは、10～20年前にNPO 法人を自ら設立した 60～70代の理事長クラスを中心としたものであり、次世代のネットワークづくりも必要になっている。	これまでの行政から受託、また講師派遣を受ける協働推進事業は、NPOと行政の協働を促し、ネットワークづくりをすること自体に意義はあるが、単発的で、なかなかその成果を感じにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に避難所などで発生する特殊なニーズ（障がいを抱えた子を持つ親、ペット対応など）に対し、対応できる NPO のネットワークづくり、学びあいの機会が必要。県単位のネットワークづくりは、まだ全国でも模索が始まったばかり。</li> <li>様々な課題当事者を支える福祉系の市民活動団体は、利用者の保護や避難、連絡の体制など、備えが十分とは言えない。</li> <li>社会福祉協議会が設立する災害ボランティアセンターは、片づけ、泥かきなどのボランティア・コーディネートが中心で、被災者のニーズに十分対応しきれていない。</li> </ul>
組織の課題	コモンズとしても、20代～中堅のセーフティネットづくりに取り組む担い手とのネットワークが弱い。	あまり優先順位の高くない業務に時間を割かれてしまい、コモンズとして本来取り組むべき活動が疎かになりがちになっていた。	常総の水害被災者支援活動の経験を活かし、首都圏直下型災害に備える必要がある。

### ◇ 実施内容

事業名	支援対象	事業内容
NPO マナビヤ	セーフティネットづくりに取り組む次世代リーダー	<p>セーフティネットや組織経営を学ぶ研修やネットワークの機会づくりを実施しました。研修内容、また参加しやすい曜日や時間帯などをヒアリングしながら、研修を企画、実施しました。話題提供をいっつも、基本的には参加者の主体性を重視し、参加者同士の対話、質疑応答や自由討論を中心とし、悩みや課題を相談し合える関係性づくりに注力しました。</p> <p>&lt;セーフティネット拡充コース&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>そもそも制度外福祉とは？NPO の存在意義は？</li> <li>現在の活動基盤を活かして、活動や対象を広げることはいかに</li> <li>当事者組織のつくり方、課題当事者の居場所、出番をどのように拡充させるか</li> <li>空き家などを活用した、小規模多機能の居場所やシェルターづくり</li> <li>企業など、他の組織を巻き込むコーディネート術</li> </ul> <p>&lt;組織経営コース&gt;</p>

事業名	支援対象	事業内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員や寄付者など、組織を開いてファンを集めるコツ</li> <li>・ 広報のコツ</li> <li>・ 持続可能なチームづくり</li> </ul>
協働推進事業	委託する自治体に住む市民	常陸大宮市で、協働提案制度の企画・運営支援を行い、地方創生や地域の担い手づくりの発掘を促進しました。
茨城県中学生向け環境教育プログラム作成事業	県内全中学生	「持続可能な開発のための教育」(ESD) や「持続可能な開発目標」(SDGs) を背景に、食をテーマとした環境学習プログラムを作成しました。同プログラム作成に合わせ、県内全中学校を対象とした環境教育実態調査や、有識者による検討会を開催しました。
地域円卓会議	左記の課題に関心のある組織	多様で異なる立場の主体が、自分の組織の強みや役割を發揮し、協議と実践を繰り返す円卓会議を徐々に開催しました。少子高齢社会における共助推進をテーマに、移動支援や空き家の有効活用などを議論しました。
被災者支援ネットワークづくり	セーフティネットワークづくりに取り組む組織	福祉施設を対象とした災害後の事業継続計画 (BCP) 作成のためのワークショップの開催や、大分県別府市の事例をもとに、災害時要配慮者の避難研修を実施しました。



地域円卓会議



平時における災害時要配慮者の避難研修会

◇ 得られた成果と今後の課題

事業名	成果	課題
NPO マナビヤ	各組織の中心となっているメンバーに対し、現場を離れて、広い視点で議論をする機会、ネットワークの機会を提供できました。	各プログラムは充実していたものの、忙しい実務担当者を対象としていたため、参加者数が伸び悩みました。
協働推進事業	常陸大宮市で2つの協働事業化に成功しました。また、協働事業提案制度の円滑な導入ができました。	各事業が成果を生み出すよう、案件及び協働推進担当課のフォローアップを行うこと。
茨城県中学生向け環境教育プログラム作成事業	SDGs 推進のため、今後 10 年活用できる、他の都道府県にも胸を張ることができる教材が生まれました。	教材が実際に様々な現場で使われるよう、教員や NPO のフォローアップが必要です。
地域円卓会議	徐々に地域円卓会議を開催し、多様な組織による連携の可能性を提示できました。	具体的なアクションにつなげることができませんでした。
被災者支援ネットワークづくり	災害時要配慮者を支えるネットワークづくりの素地が生まれました。	継続的な学びとつながりの場を仕掛ける必要があります。

### 2018年度の活動方針③：担い手の育成事業

茨城 NPO 事務支援センターによる会計支援などを拡充することによって、セーフティネットづくりに取り組む担い手の組織基盤強化と信頼性向上につなげます。

#### ◇ 取り組んだ地域及び組織の課題

地域の課題	地域の多様な課題の解決や価値の創造に取り組むセーフティネットづくりに取り組む担い手が、会計など事務や組織基盤の弱さから、その本来の力を発揮できていない。
組織の課題	2017年度に開始した「茨城 NPO 事務支援センター」は、NPO 会計サポーター育成に取り組む、会計支援業務を実際に数件開始したものの、財源的にも持続可能な事業化までには、残念ながら至っていない。

#### ◇ 実施内容

事業名	対象	事業内容
茨城 NPO 事務支援センター	会計担当職員を雇用したり、税理士と顧問契約を結ぶほどの財源はないが、事務を何とかしたいと考える NPO	<p>NPO 会計サポーターによる、NPO 法人会計基準に基づいた会計サポートを実施しました。会計ソフト導入のニーズが高く、販売のみ行った団体も含めると、16 団体に対して会計サポートを実施しました。</p> <p>また、2016 年度財務諸表をもとに行った「茨城県内 NPO 法人会計基準普及調査」及び「茨城県内 NPO 法人財務調査」を完了、報告書を完成させました。それにより、県内 NPO セクター全体の財務状況と会計基準の普及状況が把握でき、また NPO 法人にアプローチする上での基礎資料となりました。</p> <p>さらに、NPO 組織基盤強化セミナーや、日立市での NPO 会計基礎講座などの実施により、NPO 法人として必要な事務の基礎を普及させました。また非営利組織評価センターと連携した NPO 組織評価の仕組みの普及に努めました。</p>
NPO 法人会計基準協議会事務局運営	NPO 法人会計基準協議会	同団体の事務局を運営しながら、NPO 法人の会計強化のための全国キャンペーンを実施し、NPO 会計支援や会計基準の普及に取り組む他の中間支援組織や会計専門家とのネットワークを築きました。

#### ◇ 得られた成果と今後の課題

事業名	成果	課題
茨城 NPO 事務支援センター	例年以上に多くの会計サポート依頼があり、サポート件数も順調に伸びています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO マナビヤ助成金をもとに運営しており、事業収益のみで持続可能な運営をするにはまだ時間がかかります。</li> <li>NPO 会計サポーターの活動地域や会計ソフトのスキルに偏りがあり、改めて同サポーターの募集と学びの場づくりに取り組む必要があります。</li> </ul>
NPO 法人会計基準協議会事務局運営	NPO 会計サポート虎の巻や NPO 法人会計基準ハンドブック改訂版などの普及ツールを作成することができました。	事務局を運営しながら、他の都道府県の NPO 支援センターとのネットワーキングや、茨城での会計サポート力の向上につなげる必要があります。

#### 2018 度の活動方針④：活動資源の仲介事業

遺贈寄付の推進や、空き家など遊休不動産活用といった、少子高齢社会における茨城の市民コミュニティ基金としての活動の基盤を整備します。

#### ◇ 取り組んだ地域及び組織の課題

テーマ	遺贈寄付の推進	空き家など遊休不動産の活用
地域の課題	少子高齢社会で高齢単身世帯数も増え、家族や親族との関係も希薄となっています。そうした社会的背景もあり、人生最後の社会貢献として遺贈寄付に近年注目が集まり始めています。	人口流出が進む過疎地域での空き家の増大が社会課題化しています。水害で被災した常総にも、多くの空き家が発生しており、その社会的、福祉的活用が求められています。
組織の課題	2016 年度より遺贈推進に関する取り組みを少しずつ進めていますが、遺贈寄付受け入れ態勢の強化、遺贈を検討する潜在的寄付者への働きかけ（仕組みや法律、手順、地域の担い手、体験談、遺贈寄付事例などの情報提供と掘り起し）が十分とは言えません。	いばらき未来基金としても常総の旧青柳製麺所の利活用推進をコーディネートしてきました。なかなかかたちになりづらいですが、モデル化し、発信することで、遺贈寄付推進とも関連付けながら、遊休不動産の活用のためのコーディネートも行う基金の機能を高めたいと思います。

#### ◇ 実施内容

事業名	支援対象	事業内容
遺贈寄付推進事業	親族との関係がより希薄な新住民の多い地域の市民	申請していた助成金が獲得できず、また遺贈寄付の相談もほとんどなく、具体的なアクションに移せませんでした。
遊休不動産活用を前提とした事業指定助成	常総の空き家で事業を展開したい市民	常総の被災した旧青柳製麺所の改修のための寄付募集に関する報告書をまとめ、いくつか反響がありましたが、寄付があまり集まらず、具体的なアクションにつなげることができませんでした。
多様な寄付の機会づくり	茨城県民や企業など	「車で寄付しよう」キャンペーンを継続しました。不要になった車、農機、電化製品、携帯電話、鉄クズ、廃バッテリーなどを MRM エンタプライゼス社が引き取って、必要経費を引いた収益は全ていばらき未来基金の子ども支援活動などへの寄付となります。 また、株式会社ライズと連携し、5 月にいばらき未来基金初の寄付つき自動販売機を設置しました。自動販売機の最新機種への切り替えによる消費電力の大幅削減、飲料業者との取引

事業名	支援対象	事業内容
		条件の見直しなどによって生まれた改善された収益の中から、新たに当基金への寄付として充当されることとなります。ライズに自販機管理業務を委託することで、同機を設置する所有者にとっても新たな負担は一切なく、新機種の設置、電気代とCO <sub>2</sub> の削減、また当基金への寄付を完全無償で実現することができます。この仕組みが、社会貢献に関心を寄せる県内の他の企業にも広がるように働きかけましたが、2 台目以降の設置につなげることはできませんでした。
冠助成事業	企業や個人	2016 年度から開始した県西地域の環境保全活動支援のための積水化成品基金や、地域課題の解決のための組織基盤強化を支援する花王ハートポケット倶楽部「地域助成」を実施しました。
助成財団担当者のための実務セミナー	助成機関、企業、組合組織、非営利法人、行政などで、助成金や補助金の実務を担当する職員など	毎年各地で助成財団センターが実施するセミナーを、茨城で実施しました。併せて、助成機関のみならず、補助金担当の行政職員を招いた情報交換会を開催しました。県内助成機関及び補助金を支出する行政に対し、アンケート調査を実施し、報告書を取りまとめ、県内 NPO 法人財務調査報告書と合わせて、情報交換の題材としました。
助成財団シンポジウム in 茨城	NPO やボランティア団体、助成機関の役職員など	全国規模の助成機関が集まり、助成機関と助成を受けた団体の報告を行いました。助成財団や他の市民活動団体と交流する機会としました。
休眠預金活用に向けた政策提言	全国の市民活動団体など	休眠預金が十分に、柔軟に活かされるよう、非営利セクターの現状を鑑みた政策提言と継続的な情報収集を実施しました。併せて、非営利評価に関する勉強会などに参加しました。
テーマ助成事業	県内の市民活動団体など	これまでいばらき未来基金にいただいたご寄付を原資とし（主にパルシステム茨城 栃木による寄付つきカレンダーや英単語練習帳の販売を通じて）、いばらき未来基金が掲げる 3 つのテーマに沿った、市民団体による調査・提言活動助成「アドボカシー助成」を行い、6 件に計 100 万円の助成を決定しました。

#### ◇ 得られた成果と今後の課題

遺贈寄付の推進と遊休不動産活用に関しては、2018 年度は具体的なアクションにつなげることができませんでしたが、今後求められる活動であることから、地道に取り組んでいきます。

アドボカシー助成の案件を丁寧にフォローアップしながら、休眠預金活用時代における市民コミュニティ基金のあり方を模索し、地道に寄付社会づくりに取り組みます。

## 事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

以下、茨城 NPO センター・コモンズ定款第 5 条（事業）を抜粋。

### （事業）第 5 条

この法人は、第 3 条の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

- (1) 民間非営利活動及び民間非営利組織に関する情報の収集及び提供
  - (2) 民間非営利活動及び民間非営利組織に関する調査及び研究
  - (3) 民間非営利活動及び民間非営利組織に関する支援事業
  - (4) 寄付の推進及び仲介事業
  - (5) 災害被災者支援に関する事業
  - (6) 介護等の人材育成及び資格取得支援事業
  - (7) 保育と言葉等の指導に関する事業
  - (8) 学ぶ権利と機会を広げるための事業
  - (9) ひきこもりがちな市民の就労及び生活支援事業
  - (10) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項に掲げるもののほか、その他の事業として次の事業を行う。
- (1) 前項に掲げる事業に関連する物品の斡旋及び販売
  - (2) 前項に掲げる事業に関連する役務の提供
- 3 前項に掲げる事業は、第 1 項に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その収益は、第 1 項に掲げる事業に充てるものとする。

### (1) 特定非営利活動に係る事業

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
1	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	様々な社会的困難を抱える個人対象の電話相談	電話相談事業運営及びそのための企画打ち合わせ、関連会合参加、準備作業、相談者対象研修開催など	多数の日程	水戸市内	様々な社会的困難を抱える個人	
2	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	茨城福祉移動サービス団体連絡会運営支援	会長として総会に出席	6月16日	水戸市内	同会会員	
3	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	子ども支援プロジェクト	協同組合ネットいばらき、茨城県生活協同組合連合会、フードバンク茨城などと連携した、長期休暇中の子どもの食料支援の実施	多数の日程	フードバンク茨城事務所など	生活困窮者自立支援法に基づく学習支援事業を行政から受託している県内団体が支援する、準要保護世帯の小中学生がいる世帯	244世帯
4	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	生活支援	生活保護申請同行支援など	複数の日程	常総市内	外国ルーツのある市民	1名
5	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	セーフティネットに関する情報収集や提供	茨城県労働者福祉協議会主催「勤労者福祉研究集会 ～子どもの貧困 私たちができること～」での情報収集	11月13日	水戸京成ホテル		



事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
6	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	セーフティネットに関する情報収集や提供	子どもの貧困や子ども食堂、フードバンク活動などに関する情報提供及び意見交換	複数の日程	フードバンク茨城本部	県内某自治体職員	3名
7	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	委員派遣	つくば市子ども未来懇話会に委員として出席。また「つくば市子ども未来プラン」策定に向けた政策提言。	複数の日程	つくば市役所	つくば市	のべ約80名
8	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	委員派遣	セーフティネットづくりに取り組む県内福祉団体のネットワーク組織「ツナガルねっと」に参加	複数の日程	茨城県内		
9	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	子どもの貧困や子ども食堂、フードバンク活動、ひきこもりなどに関する研修講師	8月2日	水戸市福祉ボランティア会館	県央地域の社会福祉協議会職員	約40名
10	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	茨城県地域包括支援センター職員（現任者）研修でのファシリテーションに関する講師	11月14日	県立健康プラザ	地域包括支援センター職員	約80名
11	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	那珂市地域ケア会議でのファシリテーション研修	12月3日	那珂市役所	那珂市地域ケア会議のメンバー	約20名
12	5-1	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	茨城県南生活者ネットの設立15周年記念行事での講演	3月17日	馴染コミュニティセンター	同会会員など	約70名
13	5-1	②ネットワーク化事業	茨城県中学生向け環境教育プログラム作成に関する業務	同プログラムの作成及び作成に向けた検討会の開催、県内中学校対象の調査、他の都道府県の先進事例の調査など	多数の日程	茨城県庁	茨城県内全中学校	
14	5-1	②ネットワーク化事業	企業CSR支援	工場内雑木林の活用に向けた自発的な人材育成の側面的支援	6月2日	日立製作所水戸事業所	日立製作所及び日立ビルシステム社員	約10名
15	5-1	②ネットワーク化事業	企業CSR支援	茨城県経営者協会の地域関係委員会での市民活動事例紹介	複数の日程	茨城県産業会館	社会貢献活動に関心のある企業	
16	5-1	②ネットワーク化事業	企業CSR支援	常陽銀行のSDGs私募債発行に向けた調整及び打ち合わせなど	複数の日程	茨城県内		
17	5-1	②ネットワーク化事業	企業CSR支援	フードバンク活動や食を切り口に、企業CSR活動を学ぶ機会を企画、調整、当日の講演など	複数の日程（1月29日開催）	千葉大学	企業の社会貢献担当社員など	約40名

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
18	5-1	②ネットワーク化事業	ESDの推進	関東 EPO パートナーズミーティング（環境教育等促進法及びESD 推進のための自治体・中間支援組織意見交換会）に参加	5月30日	東京ウィメンズプラザ		
19	5-1	②ネットワーク化事業	ESDの推進	関東地方 ESD 活動支援センター企画運営委員会への出席	7月9日	地球環境パートナーシッププラザ		
20	5-1	②ネットワーク化事業	ESDの推進	ESD 推進全国フォーラム 2018 のセッション 4 分科会2にて、「自然災害に備える人づくり ～被災経験を次の災害に活かす、防災を通じたコミュニティづくり～」と題して事例紹介、また同フォーラムに参加	11月30日、 12月1日	国立オリンピック記念青少年総合センター	ESD関係者	約30名
21	5-1	②ネットワーク化事業	ESDの推進	地域 ESD 活動推進拠点意見交換会に出席	12月22日	東京ウィメンズプラザ		
22	5-1	②ネットワーク化事業	ESDの推進	「ESD 推進ネットワーク関東地域フォーラム 2018」にて、「食品ロス・貧困解消に向け、地域全体を巻き込む」と題して事例紹介	12月22日	東京ウィメンズプラザ	ESD関係者	約100名
23	5-1	②ネットワーク化事業	NPO マナビヤ	1. 今後の茨城のセーフティネットを担う若手人材のネットワークづくり 2. 茨城NPO事務支援センター事業の拡充を通じた、NPO 法人の会計人材強化	多数の日程	茨城県内	県内のNPO法人など	1はのべ44名
24	5-1	②ネットワーク化事業	視察対応	協働推進研修講師	5月18日	トモスみと	群馬県渋川市の市民活動関係者	約30名
25	5-1	②ネットワーク化事業	視察対応	日本の社会課題や非営利セクターなどに関する韓国学生による視察の対応	複数の日程	茨城県内	韓国の忠北大学学生	2名
26	5-1	②ネットワーク化事業	市民活動に関する情報提供	JOYOARC9月号、私の視点に『「違い」に価値を見出す地域社会に変わるか』と題して寄稿	複数の日程			
27	5-1	②ネットワーク化事業	セカンドリーグ茨城の運営支援	監事として運営支援	複数の日程	茨城県労働福祉会館	同団体役員	

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
28	5-1	②ネットワーク化事業	タウン・モビリティの普及	地域円卓会議の協議（移動困難者の外出・買い物支援）より生まれたアイデアであるタウン・モビリティを、「水戸まちなかフェスティバル」で実施するために企画、打ち合わせ	複数の日程	トモスmit	移動困難者	
29	5-1	②ネットワーク化事業	つくば市民大学運営支援	監査、総会への参加などを通じた運営支援	複数の日程	つくば市内	ユニベルシタスつくば	
30	5-1	②ネットワーク化事業	委員派遣	日本 NPO センター中期ビジョン理事タスクチーム会合に出席	5月16日	東京都内	日本 NPO センター	
31	5-1	②ネットワーク化事業	委員派遣	日本 NPO センター総会に出席	6月15日	東京都内	日本 NPO センター	
32	5-1	②ネットワーク化事業	委員派遣	茨城県生活支援体制整備県央ブロック別情報交換会でのファシリテーション	6月28日	水戸市保健センター	県央地域の生活支援体制整備事業担当職員	約 30名
33	5-1	②ネットワーク化事業	委員派遣	日本 NPO センター主催市民活動支援組織リーダー研修の企画検討及び参加	多数の日程	静岡県内、茨城県内など	全国のNPO支援センターの事務局長など	約 20名
34	5-1	②ネットワーク化事業	委員派遣	茨城県新地域支援事業推進協議会による生活支援コーディネーター養成研修に向けた企画打ち合わせ及び当日の研修に参加	複数の日程			
35	5-1	②ネットワーク化事業	委員派遣	鹿嶋市共創のまちづくり推進委員会に出席	複数の日程	鹿嶋市役所		
36	5-1	②ネットワーク化事業	委員派遣	茨城県社会福祉協議会評議員として評議員会に出席	複数の日程	茨城県総合福祉会館	茨城県社会福祉協議会	
37	5-1	②ネットワーク化事業	講師派遣	日本の社会課題や非営利セクターなどに関する講義	4月11日	Skype によるオンライン講義	韓国の忠北大学学生	約 10名
38	5-1	②ネットワーク化事業	講師派遣	協働推進研修講師	6月22日	常陸大宮市役所	常陸大宮市市民協働のまちづくり委員	約 15名
39	5-1	②ネットワーク化事業	講師派遣	第1回東北フードバンク交流会でのファシリテーション	7月20日	仙台市市民活動サポートセンター	東北地方のフードバンク団体	約 20名
40	5-1	②ネットワーク化事業	講師派遣	NPO法20周年記念プロジェクト主催テーマ別学習会「SDGs 時代における地域社会とNPOと協同組合の連携の可能性を考える」に登壇	1月25日	ちよだプラットフォームスクエア	本テーマに関心のある市民・協同組合・NPO関係者など	約 20名

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
41	5-1	②ネットワーク化事業	講師派遣	協働推進研修講師	2月27日	常陸大宮市役所	常陸大宮市職員	約30名
42	5-1	②ネットワーク化事業	講師派遣	阿見町主催「協働のまちづくり講演会」での講演及び開催に向けた調整	複数の日程	阿見町役場	阿見町職員	約60名
43	5-1	②ネットワーク化事業	講師派遣	支援力アップ塾の企画及び講師	複数の日程（3月13日）	東京ボランティア・市民活動センター	中間支援組織スタッフ	約30名
44	5-1	②ネットワーク化事業	子ども食堂に関する情報の提供及び収集	全国子ども食堂支援センター・むすびえおひろめ会に参加	2月11日	東京都内		
45	5-1	②ネットワーク化事業	子ども食堂に関する情報の提供及び収集	東海村社会福祉協議会主催「子ども食堂について考えるボランティア養成講座」にて、「県内の子ども食堂などの概況」と題して講演及び同講座開催のための助言など	複数の日程（11月8日開催）	東海村総合福祉センター 絆多目的ホール	同行事に関心のある市民	約40名
46	5-1	②ネットワーク化事業	子ども食堂に関する情報の提供及び収集	茨城県共同募金会主催「子どもの居場所づくり2018 シンポジウム」にて、子どもの貧困、子ども食堂、フードバンク活動などの講演及びファシリテーション。また当日に向けた企画検討の打ち合わせなど	複数の日程（7月19日）	牛久市中央生涯学習センター	こどもの居場所づくりに関心のある市民や団体、行政など	約120名
47	5-1	②ネットワーク化事業	子ども食堂に関する調査	県内子ども食堂の調査や情報提供など	複数の日程	水戸市内	こどもの居場所づくりに関心のある市民や団体、行政、報道機関など	
48	5-1	②ネットワーク化事業	常陸大宮市市民協働のまちづくり委員会	同委員会のアドバイザーとして、委員会開催や協働事業提案制度実施に向けた側面的支援	複数の日程	常陸大宮市役所など	常陸大宮市、常陸大宮市民	
49	5-1	②ネットワーク化事業	地域円卓会議 in 茨城 2018 ～少子高齢社会で共助を広げよう～	同会議開催、またそれに向けた企画、調整など	多数の日程（7月3日開催）	茨城県三の丸庁舎	移動支援や空き家活用などに関心のある市民、市民団体、企業など	約50名
50	5-1	②ネットワーク化事業	地方創生に関する情報の収集や提供	徳島県神山町の取り組み視察と、茨城の取り組みの情報提供	11月20～21日	徳島県神山町内		
51	5-1	②ネットワーク化事業	里山整備＆焼き芋体験	白石製作所からの受取寄附金をもとに、里山を守る会とともに同行事の実施及び開催に向けた調整	複数の日程（1月9日開催）	筑西市	地域住民、白石製作所社員	約150名

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
52	5-1	③担い手の育成事業	市民活動に関する情報収集	NPOの法制度等改革推進会議の総会に出席	6月15日	文京シビックセンター		
53	5-1	③担い手の育成事業	フードバンク茨城運営支援	理事会などへの参画を通じた組織運営支援及びセミナーの開催支援など	多数の日程	フードバンク茨城事務所など	NPO法人 フードバンク茨城	
54	5-1	③担い手の育成事業	委員派遣	千葉県市民活動団体マネジメント委託事業者選考委員会で審査	6月7日	千葉市内		
55	5-1	③担い手の育成事業	委員派遣	日本NPOセンター主催支援力応援プログラムの企画検討及び参加	多数の日程	広島県内、茨城県内、東京都内	全国のNPO支援センター中堅者	のべ約40名
56	5-1	③担い手の育成事業	茨城県内NPO法人財務調査及びNPO法人会計基準調査	2016年度財務諸表をもとに、調査を実施	多数の日程	茨城県庁など		
57	5-1	③担い手の育成事業	講師派遣	「第4回 SAKURA ミーティング ～新しい県民運動を考えるフォーラム～」にて、IT活用の可能性を講演	4月7日	茨城県三の丸庁舎	大好き いばらき 県民会議のメンバー	約40名
58	5-1	③担い手の育成事業	講師派遣	市町村NPO法人担当者研修会での講演	12月4日	水戸市国際交流センター	市町村の市民活動担当職員	約40名
59	5-1	④活動資源の仲介事業	委員派遣	茨城県共同募金会評議員として評議員会に出席	複数の日程	茨城県総合福祉会館	茨城県共同募金会	
60	5-2	②ネットワーク化事業	第36回「ボランティア推進団体会議 in 栃木」(民ボラ)への参画	同会議の企画、運営、世話人会への参加	複数の日程	栃木県宇都宮市内	全国の中間支援組織など	約40名
61	5-2	③担い手の育成事業	国税庁が障害福祉サービス事業に法人税課税すると示したことに係る緊急アンケート	県内で障害福祉サービス事業に取り組むNPO法人に対し、その対応状況を調査、実態把握を行い、情報提供	複数の日程		県内で障害福祉サービス事業に取り組むNPO法人	約120団体
62	5-3	②ネットワーク化事業	市民活動基盤整備のための委員派遣	水戸市市民協働提案制度「わくわくプロジェクト」で水戸市協働推進委員として審査や打ち合わせ	複数の日程	水戸市内	水戸市や水戸市内の市民活動団体	
63	5-3	②ネットワーク化事業	全国の市民活動支援組織との連携	CEO会議への参加	複数の日程	東京都内		
64	5-3	③担い手の育成事業	NPO組織基盤強化セミナー	会計などの法人運営実務を学ぶセミナーの開催	複数の日程	茨城県内3箇所	県内のNPO法人など	53名
65	5-3	③担い手の育成事業	NPOに関する相談対応	NPO法人の設立や運営に関する相談対応	多数の日程	トモスミと、茨城県労働福祉会館	NPO法人設立希望者や、NPO法人など	約20団体

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
66	5-3	③担い手の育成事業	NPO 組織基盤・運営力アップセミナー	水戸市と連携し、市民団体による社会調査などに関するセミナーを開催。	1月26日	水戸市役所	県内のNPO法人	約10名
67	5-3	③担い手の育成事業	NPO 法人会計基準協議会の運営支援	同協議会に事務局長として横田代表理事を派遣。また同協議会事務局業務を代行。	多数の日程	全国各地	全国のNPO法人	
68	5-3	③担い手の育成事業	茨城 NPO 事務支援センター	会計ソフトへの仕訳入力内容の確認、入力代行、会計ソフト導入支援、決算に向けた会計支援などを個別に実施。有償ボランティアのNPO会計サポーターのマッチングなど。	多数の日程	支援対象団体の事務所など	NPO法人	16団体
69	5-3	③担い手の育成事業	非営利組織評価の推進	非営利組織のための「グッドガバナンス認証制度」普及プログラム説明会及び意見交換会に参加。また「NPOの評価制度説明会」の開催。	複数の日程	つくば市内、東京都内	県内のNPO法人など	約20名
70	5-3	③担い手の育成事業	結城市コミュニティビジネス起業講座	同講座実施に向けた打ち合わせ（参加者が十分集まらず、休講）			結城市	
71	5-3	③担い手の育成事業	講師派遣	会計などの研修	6月14日	福島県内	福島県内 NPO 支援センター職員	約30名
72	5-3	③担い手の育成事業	講師派遣	役員対象のワークショップ	7月14日	水戸市内	水戸市内の障がい者福祉団体	約10名
73	5-3	③担い手の育成事業	講師派遣	きょうされん茨城支部主催「NPO法人会計研修会」での講師	10月19日	茨城県精神保健福祉センター	同組織に属する県内の障がい者福祉団体	約30名
74	5-3	③担い手の育成事業	講師派遣	会員団体の職員研修の開催支援	12月9日	マウントあかね	同団体の職員	約15名
75	5-3	③担い手の育成事業	講師派遣	日立市主催「NPO会計基礎講座」での講師	3月16日	日立市役所	NPO法人など	約30名
76	5-3	③担い手の育成事業	板書による「見える化」入門セミナー	書きながら話しあう「ファシリテーション・グラフィック」（板書）のスキルなどを学習	6月8日	トモスミと	関心のある市民、団体など	約20名
77	5-3	④活動資源の仲介事業	助成金申請のコツセミナー	パルシステム茨城と連携し、同セミナーの実施	7月12日	つくばCAPIO 2階 リハーサル室	助成金申請に関心のある市民団体など	約20名
78	5-3	④活動資源の仲介事業	市民活動基盤整備のための委員派遣	JT NPO 助成事業贈呈式での助言	5月23日	ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸	同助成金の助成対象団体	2団体

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
79	5-3	④活動資源の仲介事業	市民活動基盤整備のための委員派遣	生活協同組合 パルシステム茨城「くらし活動助成基金」の助成金審査やそのための企画打ち合わせ、申請事業案への助言、助成対象団体への訪問など	複数の日程	茨城県労働福祉会館など	茨城県内の市民活動団体	
80	5-3	④活動資源の仲介事業	市民活動基盤整備のための委員派遣	常陽銀行公益信託「エコーいばらき」環境保全基金助成金の審査など	複数の日程	茨城県内	茨城県内の市民活動団体	
81	5-3	④活動資源の仲介事業	市民活動基盤整備のための委員派遣	「住友商事 東日本再生フォローアップ・プログラム」の助成審査	複数の日程	東京都内	助成申請した NPO 法人	
82	5-3	④活動資源の仲介事業	市民活動基盤整備のための委員派遣	中央ろうきん助成プログラムでの助成審査及び関連行事への参加	複数の日程	東京都内	助成申請した NPO 法人	
83	5-3	④活動資源の仲介事業	市民活動基盤整備のための委員派遣	「中央ろうきん若者応援ファンド」での助成審査	複数の日程	東京都内	助成申請した NPO 法人	
84	5-3	④活動資源の仲介事業	市民活動基盤整備のための委員派遣	茨城県ボランティアセンター運営委員会委員として助成審査	複数の日程	茨城県総合福祉会館	茨城県社会福祉協議会	
85	5-4	④活動資源の仲介事業	いばらき未来基金第3回テーマ助成「アドボカシー助成」	助成企画の検討、助成申請受付、審査など	多数の日程	県内各地	助成対象の市民団体	
86	5-4	④活動資源の仲介事業	いばらき未来基金への寄付募集	市民や企業、生協などへの寄付募集活動実施。行事での出展などによる寄付募集活動など	複数の日程		市民や企業、生協など	特 多 不 定 数
87	5-4	④活動資源の仲介事業	いばらき未来基金運営委員会	同委員会開催	3月29日	トモスmit		
88	5-4	④活動資源の仲介事業	いばらき未来基金冠助成事業	積水化成成品工業「積水化成成品基金」助成事業の事務局業務	多数の日程	茨城県内	助成対象となる市民活動団体	
89	5-4	④活動資源の仲介事業	いばらき未来基金冠助成事業	花王・ハートポケット倶楽部地域助成の茨城ブロックの事務局代行に伴う作業	多数の日程	茨城県内	助成対象となる市民活動団体	
90	5-4	④活動資源の仲介事業	助成財団シンポジウム in 茨城	助成財団センターと連携し、同セミナーの開催及び開催に向けた企画調整など	12月15日	つくば国際会議場	NPO法人や助成機関職員など	約50名
91	5-4	④活動資源の仲介事業	プログラム・オフィサー研修	全国コミュニティ財団協会主催の同研修に参加し情報の収集と提供	3月10日	東京都内		

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
92	5-4	④活動資源の仲介事業	寄付つき商品の開発・販売	会員団体が作成したひらがな練習帳や英単語カレンダー販売を通じた寄付募集、寄付つき自動販売機設置に向けた調整など	複数の日程	茨城県労働福祉会館	同商品に関心のある市民	
93	5-4	④活動資源の仲介事業	休眠預金活用のための情報収集	"緊急集会"「みんなの休眠預金をどうするのか！。指定活用団体決定前の“今こそ語り合おう！”に参加	7月26日	文京シビックセンター		
94	5-4	④活動資源の仲介事業	休眠預金活用のための政策提言	現場視点で休眠預金を考える会を通じた政策提言	多数の日程		全国の市民活動団体	
95	5-4	④活動資源の仲介事業	助成財団担当者のための実務セミナー及び県内助成機関交流会	助成財団センターと連携し、同セミナー及び交流会の開催 講師：公益財団法人 助成財団センター 事務局長／プログラムディレクター 渡辺元氏	7月27日	トモスミと	助成機関、企業、組合組織、非営利法人、行政などで、助成金や補助金の実務を担当されている職員の方など	約20名
96	5-4	④活動資源の仲介事業	他の助成財団の情報収集	全国コミュニティ財団協会や市民ファンド推進プログラムなどの研修に出席し、情報の収集及び提供	複数の日程	東京都内		
97	5-4	④活動資源の仲介事業	委員派遣	第2期市民ファンド推進プログラムの市民活動助成担当者のための研修事業に委員として情報提供	複数の日程	東京都内		
98	5-4	④活動資源の仲介事業	講師派遣	どうなる？どうする！休眠預金学習会での講演	1月6日	とちぎボランティアNPOセンター「ぼ・ぼ・ら」	同学習会参加者	約20名
99	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	「プラットフォーム・ビルダー」構築のための地域円卓会議	常総市水害復興・まちづくりを対象としたプラットフォーム構築のために議論	9月4日及び10月15日	トモスミと及び常総市役所		
100	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	『JUNTOS 通信』発行	被災者に必要な情報を届けるかわら版を発行	複数の日程	常総市内	常総で被災された方	
101	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	オリジナル防災セットの企画販売	常総の水害経験をもとに災害発生直後にあるといいものをまとめたバックを商品化。豪雨災害マニュアルも作成	随時		家庭での防災に備えたい世帯	
102	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	グローバルセンター・コモンズの運営支援	障害者就労継続支援A型事業などに取り組む同団体の運営支援	随時	常総市内	常総市内の障がい者	



事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
103	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	視察対応	避難所運営に関する情報提供	複数の日程	常総市内	防災拠点建設事業受託事業者など	
104	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	被災した住民の交流の機会づくり	三遊亭楽麻呂氏を招いた落語会の開催	7月22日	えんがわハウス	地域住民	約30名
105	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	被災者支援に関する情報提供	とりで障害者協働支援ネットワーク主催「障がい者のための防災訓練」に参加	9月15日	取手市福祉交流センター		
106	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	被災者支援に関する情報提供	常総の水害経験を、岡山県などに伝える。	複数の日程	岡山県内	岡山県の行政、社会福祉協議会、NPO関係者など	
107	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	被災者同士のコミュニティ形成支援	浪江町「浪江のこころ通信」の取材協力	1月22日	茨城県内		
108	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	被災地支援の情報収集	全国災害ボランティア支援団体ネットワークによる第3回「災害時の連携を考える全国フォーラム ～つながりから協働へ～」に参加	6月12日～13日	東京都内		
109	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	被災地支援ボランティアのコーディネート	大学生の被災地ボランティアのコーディネート	9月20日	常総市内	白鷺大学学生	約25名
110	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	被災地の現状発信	マス・メディアを通じて、常総市など被災地の現状を発信	多数の日程	常総市	マス・メディアの読者及び視聴者	
111	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	福祉避難所開設訓練	避難所体験、福祉トイレの設置など	9月3日	水海道中学校	同校生徒及び教員、地域住民など	約100名
112	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	福祉避難所開設訓練	同訓練の開催、及び実施に向けた企画、調整など	複数の日程（8月11日開催）	鹿島特別支援学校	鹿島特別支援学校の利用者及び保護者など	約100名
113	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	福祉避難所の開設研修会	第1部：講演「避難所のバリアフリー化と『NPO型福祉避難所』を考えよう」NPO法人 医療ケア協会 東京代表理事 小野 有香里 氏第2部：グループワーク「学校が避難所になった場合、特殊なニーズにどのように対応するかを考える」	7月21日	防災科学技術研究所 研究交流棟 1階 第一セミナー室	同行事に関心のある市民	約50名

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
114	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	防災の推進	クラウドファンディングを活用した防災の推進	随時		防災に関心のある市民や団体など	
115	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	ホープ募金	災害で被災された方を支援するための募金活動や、支援団体のネットワークづくり	複数の日程	全国各地	全国の被災者	
116	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	もりはしプロジェクト	空き家になっている常総市の片野医院と住宅を、多世代多文化交流拠点として再生させる活動、まちづくり会社の運営など	随時	常総市水海道森下町、橋本町	地域住民	約1,000世帯
117	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	もりはしプロジェクト	常総市水海道森下地区橋本地区自主防災運営支援	随時	常総市水海道森下町、橋本町	住民	約1,000世帯
118	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	移動支援ボランティア	車での送迎、移動支援	随時	常総市内	市のオンデマンド交通が利用できない外出困難者	約20名
119	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	豪雨災害に備えるガイドブック	同冊子の公開及び発信			豪雨災害被災者など	
120	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	災害時要配慮者の避難研修会	大分県別府市における以下の事例から学習。 □インクルーシブ防災の取り組み □災害時要配慮者の個別支援計画策定 □福祉避難所の整備と避難訓練の状況 □市民、当事者と行政の連携 など 別府市 共創戦略室 防災危機管理課 防災推進専門員 村野 淳子 氏	3月19日	神栖市保健・福祉会館	行政の危機管理、災害時要配慮者支援担当、社会福祉協議会、特別支援学校、自主防災組織、NPO 関係者など	約40名
121	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	常総市の水害と防災の視察対応	視察対応	多数の日程	常総市内	県内外の民生委員、自主防災関係組織、大学、NPO	約200名
122	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	被災地ボランティアのコーディネート	企業新入社員研修の一環として、常総の水害被災者支援活動体験をコーディネート	4月16日	常総市内	企業の新入社員	約30名

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
123	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	福祉施設の災害対応力向上研修	□茨城県による『社会福祉施設等における非常災害対策計画の策定の手引』や「事業継続計画（BCP）」に関する手引の解説及び質疑応答 □災害時の利用者保護における課題やその対応策を話し合うワークショップ など	10月22日	トモスミとビル3階セミナーホール	高齢者、障がい者、児童などを対象とした県内福祉施設職員など	約40名
124	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	福島からの避難者を支える団体ネットワーク「ふうあいねつと」の運営支援	同団体の会議出席などによる側面的支援を実施	複数の日程	茨城大校内	福島から避難している方々約4,000人	
125	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	委員派遣	茨城県防災ボランティアネットワーク世話人会に出席	6月14日	茨城県総合福祉会館2階ボランティアルーム		
126	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	委員派遣	障がい当事者の防災に関する会議に出席	3月22日	水戸市内	NPO法人風の子関係者など	約20名
127	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	日本青年会議所 茨城ブロック協議会 茨城魅力発信委員会主催「災害に備え、防災・減災について学ぼう。」で防災バッグなどについて紹介	6月14日	常総市生涯学習センター	同委員会参加者	約100名
128	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	茨城県県北生涯学習センター主催の元気いばらき子育て事業「目指せ サバイバル家族！ ～親子で学ぶ防災のこと～」で講演	6月24日	たかはら自然塾体育館	同行事に関心のある市民	29名
129	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	避難所運営ゲームの実施	6月28日	鹿島特別支援学校	同校教員など	約30名
130	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	西日本水害対応に関する研修	7月19日	岡山県社会福祉協議会	岡山県内の社会福祉協議会事務局長	約30名
131	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	母親大会での講演	8月24日	常総市生涯学習センター		

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
132	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	常総市吉野サポートセンター主催の水害に関するフォーラムに出席	9月9日		同フォーラム出席者	約60名
133	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	避難所運営ゲームの実施	9月10日	水海道中学校	同校生徒など	約100名
134	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	災害時の福祉施設の対応研修	9月27日	ひたちなか市内	ひたちなか市内の福祉施設職員	約50名
135	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	いたばし総合ボランティアセンターのシンポジウム	11月23日	いたばし総合ボランティアセンター	板橋の住民	約60名
136	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	岐路に立つ日本と世界	12月3日	宇都宮大学	学生、研究者	約50名
137	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	特別支援学校 PTA 連絡協議会	12月6日	協和特別支援学校	PTA 関係者	約200名
138	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	生徒指導対策研究会	12月19日	水海道中学校	地域住民、学校関係者	約40名
139	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	静岡県ボランティア協会主催「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」での講演	2月22日～23日	京葉大学	自主防災組織や災害ボランティア	約300名
140	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	千葉県内の災害時における支援体制の連携強化に向けた助言及び研修講師など	複数の日程	千葉県内	千葉県職員、千葉県内の社会福祉協議会職員、千葉県内の中間支援組織など	
141	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	ボランティアセンター合同研修	1月9日	千葉県教育会館	千葉県内のボランティアセンター関係者	約60名
142	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	奈良市老人福祉施設連絡協議会主催研修会で、「福祉施設における災害対応について」と題して講演	1月11日	奈良市役所	同会会員の高齢者施設などの職員及び行政職員	約30名
143	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	海外にルーツを持つ若者とつくる、これからの社会	1月19日	日本福音ルーテル東京協会	参加者	約30名
144	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	蓮根まちの学校「板橋区の水害を考える」学習交流会で講演	1月26日	東京都内	同会参加者	約60名

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
145	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	県生涯学習交流シンポジウム	2月9日	県西生涯学習センター	同会参加者	約200名
146	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	鹿沼市社会福祉協議会主催防災講座での講演	2月16日	栃木県鹿沼市内	同講座に関心のある市民	約60名
147	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	自主防災に関する講演	2月17日	神栖市内	神栖市内地縁組織など	約60名
148	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	お互い様復興を考える会	2月21日	真備町	真備町で復興に取り組む方々	約20名
149	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	防災に関する授業の実施	2月22日	石岡市立北小学校	同行児童及び教員など	約20名
150	5-5	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	「全国ボランティアコーディネーター研究集会2019」の分科会「防災からはじめるまちづくり～防災「みんなの参加」を促すコーディネーション～」で講演	3月3日	大谷大学	同分科会参加者	約15名
151	5-6	①セーフティネットのインキュベーション事業	情報収集	介護研修などを受講。また全国の先進事例の視察。	複数の日程			
152	5-7	①セーフティネットのインキュベーション事業	常総市国際交流サロン「YOUKOSO!」	常総市と連携し、外国人ピアサポーターが中心となり、隔月でサロンを実施	複数の日程	常総市役所	常総市に来て間もない外国人世帯、外国人と交流したい日本人など	約80名
153	5-7	①セーフティネットのインキュベーション事業	多文化共生施策に関する情報収集	「外国人集住都市会議おた2018～外国人材の受入れと多文化共生社会の実現～」に参加	1月29日	群馬県太田市内		
154	5-7	①セーフティネットのインキュベーション事業	多文化共生施策に関する情報収集	常総市職員とともに視察	7月24日	群馬県大泉町		
155	5-7	①セーフティネットのインキュベーション事業	はじめのいっほ保育園	多文化保育の実践	随時	えんがわハウス	外国につながる乳幼児とその保護者	
156	5-7	①セーフティネットのインキュベーション事業	外国人ピアサポーター養成講座	生活相談対応を行うピアサポーターを養成	複数の日程	常総市内	外国人	8名
157	5-7	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	まちぼっと主催「海外にルーツを持つ若者とつくる、これからの日本社会」に登壇	1月19日	日本福音ルーテル東京教会	同行事参加者	約40名

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
158	5-7	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	坂東市観光協会主催「海外からのお客様おもてなし接客セミナー《入門編》」での講演	2月20日	坂東市役所	市内商店主の方、今後開業予定の方など	約30名
159	5-7	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	SDGs 市民社会ネットワーク主催「だれひとりとり残さない ～SDGsが達成された世界を実現するために～」での、「移住者の物語：難民・技能実習生・移民：災害時における多言語対応の課題」と題した講演	2月27日	聖心女子大学	SDGsの目標達成に関心のある方	約60名
160	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	アフタースクール	外国人児童生徒の小・中学生へ宿題や教科指導	毎週土曜	常総市内	在住外国人児童生徒	
161	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	プレスクール	学習支援	多数の日程	えんがわハウス	小学校就学前の外国にルーツをもつ園児	
162	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	はじめのいっぽアカデミア	学童保育、学習支援、不登校支援	毎週月～金	えんがわハウス	在住外国人児童生徒	
163	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	外国人進路ガイダンス	高校入試制度などを通訳付きで説明する同行事の開催	複数の日程	茨城県内	外国につながる児童生徒とその保護者	約50名
164	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	外国人生徒のキャリア支援円卓会議	愛知淑徳大学の小島先生の卓話など	2月14日	えんがわハウス	教育委員会関係者など	12名
165	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	外国人生徒のキャリア支援円卓会議		6月11日	常総市石下庁舎	教育委員会関係者など	約10名
166	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	夜間中学校設立に向けた支援	松戸市の夜間中学校に視察など	複数の日程			
167	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	外国人児童生徒に対応するためのワークショップの実施	7月6日	茨城県教職員研修センター	日本語担当教員	
168	5-8	①セーフティネットのインキュベーション事業	講師派遣	「子どもの権利条約フォーラム2018 in とちぎフォーラム」での講演及びプレフォーラムでの講演	10月21日、11月4日	栃木県小山市内	同行事参加者	約20名
169	5-9	①セーフティネットのインキュベーション事業	グッジョブセンターみと	中間的就労のための職場開拓と就業体験メニューの開発及び実施、調整	随時	トモスみと4階など	ひきこもりがちな市民	のべ1,494名

事業実績（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

整理番号	定款条項	事業区分	事業名	具体的な事業内容	当該事業の実施日	当該事業の実施場所	受益対象者の範囲	人数
170	5-9	①セーフティネットのインキュベーション事業	いばらき若者サポートステーション	就労に関する個別相談、講座開催、職場体験コーディネート、職場定着・ステップアップ支援など	随時	茨城県労働福祉会館	若年無業者	相談件数：のべ1,331件
171	5-9	①セーフティネットのインキュベーション事業	茨城県ひきこもり居場所づくり普及推進事業	茨城県から業務受託し、居場所づくりに関するセミナーを開催及びそのための企画、調整など	複数の日程	県北、県南	ひきこもりがちな市民の居場所づくりに関心のあるNPO、社会福祉協議会職員、行政職員など	のべ約80名
172	5-9	①セーフティネットのインキュベーション事業	視察対応	グッジョブセンターみとの活動事例紹介	9月10日	グッジョブセンターみと	「ツナガルねっと」参加者	約20名
173	5-9	①セーフティネットのインキュベーション事業	生活訓練を兼ねた交流会	バーベキュー	8月30日	涸沼自然公園	ひきこもりがちな市民	約10名
174	5-9	①セーフティネットのインキュベーション事業	とらい運営支援	監事としての監査、総会への出席	複数の日程	とらい	NPO法人 とらい	
175	5-9	①セーフティネットのインキュベーション事業	第3回地域円卓会議「『困りごと』が作り出すまちおこし」	同行事の開催	複数の日程（11月6日開催）	トモスみと	行政職員、社会福祉協議会職員などひきこもり支援に関心のある方など	約50名

※ その他の事業は実施しなかった。

## 会務に関する報告

種類	回	日時	場所	出席者数	議決事項
通常 総会		5月19日(土) 午後1時～3時半	トモスミとビル 3階 セミナーホール	130名(出席者26名、表決委任者96名、書面表決者8名)	<ol style="list-style-type: none"> <li>2017年度事業報告の承認を求める件</li> <li>2017年度活動決算の承認を求める件</li> <li>定款変更(案)の承認を求める件</li> <li>2018年度事業計画(案)の承認を求める件</li> <li>2018年度活動予算(案)の承認を求める件</li> <li>2019年度事業計画(案)の承認を求める件</li> <li>2019年度活動予算(案)の承認を求める件</li> <li>役員を選任並びに承認を求める件</li> </ol>
理 事 会	第1回	4月23日(日)	コモンズ大工町事務所前の共有スペース	7名(出席者7名)	<b>【協議事項】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>2018年度事業計画案及び予算案の協議</li> <li>定款変更案の協議</li> <li>役員変更案の協議</li> </ol>
	第2回	7月16日(祝)	本部事務所前の共有スペース	6名(出席者6名)	<b>【報告事項】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>2018年度事業進捗状況の報告</li> <li>財務状況の報告</li> </ol> <b>【協議事項】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成30年度7月豪雨の被災者支援活動の方向性の協議</li> <li>設立20周年記念行事の方向性の協議</li> </ol>
	第3回	2月4日(月) 午後6時～8時		8名(出席者8名)	<b>【報告事項】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>常総関連事業の進捗状況の報告及び今後の方向性の検討</li> <li>水戸関連事業の進捗状況の報告</li> <li>財務状況の報告</li> </ol> <b>【協議事項】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>運営体制のあり方の協議</li> </ol>
	第4回	3月1日(金) 午後6時～9時	コモンズ大工町事務所前の共有スペース	6名(出席者6名)	<b>【報告及び審議事項】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>水戸関連事業の資金繰り及び借入金返済状況の報告及び審議</li> <li>2019年度事業予算の方向性の報告</li> <li>常総市内の従たる事務所移転の審議</li> <li>役員体制のあり方の審議</li> <li>2019年度第1回理事会開催日及び2019年度通常総会候補日の審議</li> </ol>



## 会員数内訳

	2016年度				2017年度				2018年度				2019年度			
	個人	団体	合計	前年比	個人	団体	合計	前年比	個人	団体	合計	前年比	個人	団体	合計	前年比
正会員	94	78	172	-6	96	87	183	+9	105	89	194	+11	111	89	200	+6
賛助会員	14	8	22	0	14	7	21	-1	13	8	21	0	12	8	20	-1
購読会員	4	1	5	-1	7	1	8	+3	6	1	7	-1	6	1	7	0
合計	112	87	199	-7	117	95	212	+13	124	98	222	+10	129	98	227	+5

### 個人正会員 (50音順・敬称略)

相原 正夫	遠藤 理沙	菊池 克幸	佐藤 伸	帯刀 治	野原 藤男	町田 栄子
青木 高志	大内 節子	菊池 康弘	澤幡 博子	田所 信幸	萩谷 慎一	松尾 由美子
赤津 一徳	大里 千恵子	木村 晴美	塩原 慶子	田中 宣之	橋本 てるみ	松原 卓朗
赤津 多佳子	大高 はづき	木村 ひとみ	渋谷 暁享	田中 伸幸	蓮見 孝	室 龍太郎
安久 正倫	大塚 朋子	木本 一颯	清水 悦子	田中 玲子	塙 茂	森 良
飯塚 祐己	大野 覚	清山 玲	生頭 寛子	田邊 唯克	羽生 健宏	森木 孝司
飯村 研介	小川 直美	栗原 とし子	鈴木 博久	塚本 勝美	番場 みち子	森下 松寿
池田 幸也	奥平 基雄	国分 エミ	鈴木 雅弘	塚本 美和子	福士 敏夫	柳橋 剛
伊関 望	小田 佳津子	小鷹 美代子	須藤 文彦	恒川 敏江	福田 信一	矢野 正広
石関 宏子	小貫 由美	後藤 岳志	関口 敦男	照山 興一	福田 義輝	横田 能洋
石堀 光正	小幡 登	後藤 真紀夫	関根 一紀	富永 泰世	福地 伸	米田 佐知子
市毛 尚美	小原 瑛平	小松崎登美子	瀬谷 哲彦	仲井 祥子	藤井 康彦	六反田 和江
市毛 三弥子	梶山 瑞江	古山 均	高橋 かよ子	中島 晃士郎	藤久保 幸	渡辺 陵司
岩田 竜一	方喰 英幸	斎藤 義則	竹内 優子	中原 淑美	藤沼 良夫	和田 宏
内田 真	神長 康典	坂井 寿栄子	竹中 紀博	中原 雅美	古山 みのり	
江崎 礼子	仮屋 茂	桜庭 紀久子	太刀川 友理	根本 久子	本田 秀樹	

### 団体正会員 (順不同・敬称略)

認定 NPO 法人 いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい	NPO 法人 茨城自立支援センター	NPO 法人 生活支援ネットワークこもれび
認定 NPO 法人 市民活動センター神戸	NPO 法人 ウィラブ北茨城	NPO 法人 青少年の自立を支える会シオン
認定 NPO 法人 リヴォルヴ学校教育研究所	NPO 法人 うしく里山の会	NPO 法人 セカンドリーグ茨城
NPO 法人 HSE リスク・シーキューブ	NPO 法人 エコ・グリーンいばらき	NPO 法人 大好きかすみがうら
NPO 法人 kosodate はぐはぐ	NPO 法人 大洗海の大学	NPO 法人 たすけあいネット民の会
NPO 法人 M・I・T・O21	NPO 法人 おおぞら	NPO 法人 たんたん
NPO 法人 MANNA	NPO 法人 オンリーワン	NPO 法人 つくばアーバンガーデニング
NPO 法人 NPO こすもす	NPO 法人 かしま遊休地活用クラブ	NPO 法人 とらい
NPO 法人 NPO 消費者相談室	NPO 法人 かしま楽園倶楽部	NPO 法人 ドリームたんぼぼ
NPO 法人 SMSC	NPO 法人 こが里山を守る会	NPO 法人 とりで西部ふれあいクラブ
NPO 法人 あすかユーアイネット	NPO 法人 古河市障害児(者)支援の会 希望	NPO 法人 なごみ
NPO 法人 あすなろ会	NPO 法人 子どもの造形美術と学びを考える会	NPO 法人 並木会
NPO 法人 アセンブル	NPO 法人 災害ボランティアネット	NPO 法人 なめがたふれあいスポーツクラブ
NPO 法人 あゆみ	NPO 法人 里山再生と食の安全を考える会	NPO 法人 ナルク水戸
NPO 法人 育泳会	NPO 法人 宍塚の自然と歴史の会	NPO 法人 認知症介護家族の会うさぎ
NPO 法人 茨城 YMCA	NPO 法人 自然生クラブ	NPO 法人 農業支援センター
NPO 法人 茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会	NPO 法人 ファミリートランポリンクラブ	NPO 法人 発達支援グループ風の子
NPO 法人 茨城県精神障害地域ケア一研究会	NPO 法人 スリーアール茨城	NPO 法人 はつらつ会
	NPO 法人 生活支援ネットワーク・介護セブン	

NPO 法人 ビスターりさとみ会	しを作る会 おらい水戸	社会福祉法人 ユーアイ村
NPO 法人 ひたち親子の広場	NPO 法人 村松学童クラブ	一般社団法人 茨城県経営者協会
NPO 法人 ひと・まちねっとわーく	NPO 法人 友愛会	株式会社 アドバンスワーク
NPO 法人 ひまわり	NPO 法人 ユーアンドアイ	勝田パークボウル（第一観光開発 株式会社）
NPO 法人 ふくろう	NPO 法人 結城まちづくり研究会	だるま食品株式会社
NPO 法人 ふれあい	NPO 法人 よつ葉ナーサリー	中央ろうきん 社会貢献基金
NPO 法人 ふれあい坂下	NPO 法人 らぼーる朋	日本労働組合総連合会 茨城県連合会
NPO 法人 ベル・サポート	NPO 法人 リーブルの会	茨城県生活協同組合連合会
NPO 法人 ぼこりっと	NPO 法人 れいめい	いばらきコープ 生活協同組合
NPO 法人 まごころねっとわーく	一般社団法人 もりや子育てネットワーク ままもり	生活協同組合 パルシステム茨城 栃木
NPO 法人 まちづくり市民会議	NPO 環～WA	
NPO 法人 ままとーん	特別養護老人ホーム もみじ館	
NPO 法人 水戸に精神障害者のくら		

### 個人賛助会員（50音順・敬称略）

飯田 恭之	井田 米子	江本 里子	徳田 太郎	平野 聡	松本 治郎
和泉 孝	榎田 よしみ	土崎 雄祐	中村 英一	藤原 忠弘	吉澤 昇

### 団体賛助会員（順不同・敬称略）

NPO 法人 ぐらし協同館なかよし	NPO 法人 ニューライフカシマ 21	株式会社 アプリシエイト
NPO 法人 市民支援センターともべ	NPO 法人 ふれあい潮来	有限会社 つくばインキュベーションラボ
NPO 法人 取手市手をつなぐ育成会	NPO 法人 らしん盤	

### 団体賛助会員（順不同・敬称略）

NPO 法人 ぐらし協同館なかよし	NPO 法人 ニューライフカシマ 21	株式会社 アプリシエイト
NPO 法人 市民支援センターともべ	NPO 法人 ふれあい潮来	有限会社 つくばインキュベーションラボ
NPO 法人 取手市手をつなぐ育成会	NPO 法人 らしん盤	

### 購読会員（順不同・敬称略）

落合 幸	富山 久司	山上 弘明	NPO 法人 つくば環境
小泉 力夫	根本 真嗣	山上 真弓	フォーラム

### 団体からの助成金及びご寄付（順不同・敬称略）

公益財団法人 トヨタ財団	常陸農業協同組合	株式会社 ギルドセキュリティ
公益財団法人 ベネッセこども基金	しおさい農業協同組合	株式会社 スケッチ
NPO 法人 市民のための健康・医療ネットワーク	なめがた農業協同組合	積水化成工業 株式会社
NPO 法人 ベル・サポート	茨城かすみ農業協同組合	株式会社 リバティブーズ
NPO 法人 サラダボール	竜ヶ崎農業協同組合	有限会社 白石製作所
茨城県生活協同組合連合会	茨城みなみ農業協同組合	茨城県生命保険協会
茨城県農業協同組合中央会	土浦農業協同組合	花王ハートポケット倶楽部
全国農業協同組合連合会茨城県本部	北つくば農業協同組合	一般社団法人 茨城県労働者福祉協議会
全国共済農業協同組合連合会茨城県本部	常総ひかり農業協同組合	一般財団法人 茨城県労働者福祉基金協会
茨城県厚生農業協同組合連合会	茨城むつみ農業協同組合	チャレンジいばらき県民運動
茨城県酪農業協同組合連合会	岩井農業協同組合	えほんやなずな
茨城県畜産農業協同組合連合会	いばらきコープ 生活協同組合	宗教法人 真如苑
よつ葉生活協同組合	生活協同組合 パルシステム茨城 栃木	
水戸農業協同組合	一般社団法人 茨城県経営者協会	
	茨城乳配 株式会社	

ご支援、誠にありがとうございました。2019年度も引き続きご支援お願いいたします。